



# 明日を拓く

**学校報**  
 令和元年 5月24日  
 No.10  
 美郷町立美郷中学校

**■郡陸上競技大会…共に走る美郷の心意気示す**



雨で順延となった今年の標記大会は、22、23日の2日間で開催されました。本校は男子総合第3位、女子総合第4位と堂々の成績を収めることができました。個人においても1位が4名、2位が2名と2チーム、3位が2名のほか8位以内の入賞もたくさんあり、それぞれが今持てる力を十分に発揮してくれました。

多くの選手が、各所属の部活動の郡や県の春季大会と合わせての活動で、休む間もなく毎朝陸上練習に励んで力を付けて挑みました。負傷により出場を断念した選手、多少の負傷を押しても力を出し切ってくれた選手、仲間の競技にも休まず声援を送った選手など、栄叶学年を中心に、選手団が一体となって「共に走る美郷」の心意気を示してくれました。



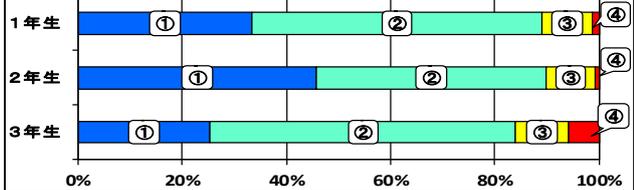
選手の頑張りに敬意を表するとともに、保護者の皆様の物心両面でのご協力と熱いご声援にも心から感謝申し上げます。（詳細は別号でお知らせします。）

**■「自分にはよいところがある」をもっと…♡**

引き続き生徒の意識調査結果を紹介します。大変興味深い結果が見えています。

〔グラフの示す内容〕  
 ①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる  
 ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない

**(5) 自分にはよいところがあると思う**



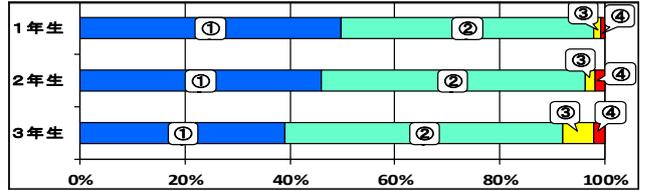
これは、各学年ともに①と②の肯定的な回答が合わせて9割弱になりますが、一方で①の積

極的な意識の回答はいずれも5割を超えていません。成長と共に自己評価の基準が厳しくなるのは当然であり、一概には判断できませんが、個々や集団の特徴としては興味深い結果です。

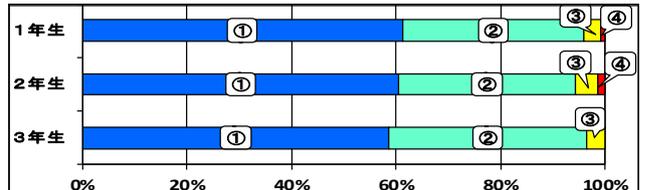
学校としては、人との関わりで「自分が役立っている、必要とされている」などの自己有用感を様々な機会に実感させ、一人一人が自分のよさを大切にする自尊感情をより一層高めていけるように努力したいと考えています。

その第一歩は授業です。1日のうちの半分以上は授業です。その授業で、多様な考えが受け入れられて一人一人がより多く認められるよう、授業づくりに励んでまいります。

**(6) 先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う**



**(7) 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う**



(6) (7)のどちらも①②の肯定的な回答が9割を超えており、生徒にとって先生はよく対応していると見ることができそうですが、生徒は先生に気を遣ってくれたかもしれません。

今年度の本校の重点である、生徒に「自己決定の場を与える」「自己存在感を与える」「共感的人間関係を育成する」の3点について、授業はもとよりあらゆる活動の場面で取り組み、生徒の「自己有用感、自尊感情、自らを律する心」の育成に意を注いでまいります。

ご家庭でも、共同の歩調にご協力くださるようお願いいたします。

【お知らせ】 明日（5月25日（土）15:00～15:55）、AKT秋田テレビで「第28回FNSドキュメンタリー大賞『夢を追う男-冒険家・阿部雅龍』」が放映されます。阿部雅龍さんは、6月30日（日）のPTA研修会の講演会に講師としておいでくださることが決まっています。